



令和2年度 チバザビーフ協議会通常総会 議事録

- 1 開催日時 令和2年7月3日（金） 14時～
- 2 開催方法 新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止のため書面開催
- 3 開催場所 公益社団法人千葉県畜産協会（事務局が書面決議の開票）
- 4 議決権の総数 88（生産者会員の数）
- 5 議決権行使者総数 60
- 6 議案及び開票結果

第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算の承認について

賛成 60票、反対 0票 【可決】

- ① 令和2年2月に開催を予定していた「第10回チバザビーフ枝肉共励会前夜祭」については、新型コロナウイルスによる感染症の拡大と蔓延に伴い、急遽中止しました。
- ② 関係団体等から中止決定前に既に前夜祭協賛金として入金いただいた分は、ホテルキャンセル料（吊看板作成実費分）相当を差し引いた額を、食肉市場まつり参加のための積立金として計上しました。

第2号議案 令和2年度事業計画及び収支予算の承認について

賛成 59票、反対 0票、未記入 1票 【可決】

- ① あくまでも年度当初での事業計画ということで提案しました。新型コロナウイルスによる感染症の影響が大きく、各種イベント等の中止が決定、又は検討されているところです。
- ② 千葉県「チバザビーフ」が推奨銘柄として参加予定であった「東京食肉市場まつり2020」についても、正式に中止の連絡がありました。（別紙参照）
- ③ 食肉市場まつりに関連する催し等（産地交流見学会やプレスキャラバンなど）もあわせて中止となります。
- ④ 広告宣伝活動の推進にて提案した「じゃらん」を活用したプロモーションについて、「コロナ禍の中、再考が必要なのは？また、2,530千円という大金を支出するにあたり、その趣旨を説明すべきでは？」との意見がありました。
- ⑤ 第2号議案の頭にも記載したとおり、あくまでも年度当初での事業計画となっており、もともと下記のように年間を通して、また連動して次につながるPR活動が図れるよう計画を練っていました。
 - 【夏】7～9月頃 県産牛肉キャンペーン（市場まつり等のPRを兼ねる）
 - 【秋】9～10月頃 食肉市場まつり2020及び枝肉共励会開催（じゃらんと連携しPR冊子配布）
 - 【冬】11月～1月頃 じゃらんを活用したプロモーション（宿泊施設等との連携）
- ⑥ 【夏】の県産牛肉キャンペーンについては「千葉県産牛肉応援キャンペーン」として実施予定で、【秋】の食肉市場まつり等については前述のとおり中止が決定、【冬】じゃらんの活用についても見直しを図るべく、担当者と連絡をとっています。
- ⑦ 「じゃらん」は誰もが知っている広告媒体であり、特に、じゃらんが得意とする宿泊施設等と連携し「チバザビーフが食べられる宿泊プラン」を造成することは、県産牛肉の知名度向上及び消費拡大を図るうえでも、非常に有効な手段であると考えます。（東京食肉市場まつりのような大型イベントと連動させることでさらに効果があると見込んでいました。）

- ⑧ 今回、プロモーション費用として2,530千円を計上しているのは、差し当たりじゃらんから提案のあったプロモパック（「じゃらん」本紙での特集、週刊じゃらん（スマホアプリ）、ネットニュース、SNS、チバザビーフ宿泊プラン造成費用も含む。）を活用した場合の経費となっています。（別紙参照）
- ⑨ 今年度事業については時勢柄、計画の中止・変更・見直しが必須です。理事会等にて協議し、慎重に進めてまいります。

第3号議案 令和2年度会費の賦課及び徴収方法について

賛成 60票、反対 0票 【可決】

- ① 生産者会費及び賛助会費ともに昨年度と同額にて提案しました。
- ② 加えて食肉市場まつり協賛金の募集について記載していますが、市場まつり開催中止に伴い協賛金の募集も停止します。
- ③ 中止決定前に既に入金いただいている協賛金については、返金する旨、調整します。

第4号議案 役員の変更について

賛成 59票、反対 1票 【可決】

- ① 理事及び監事の選任について、また専門部会に係る生産者委員の選出について提案しました。
- ② 理事等の選出については「（銘柄毎の）出荷（頭数）割合にあわせた員数にするべきでは？」との意見がありました。
- ③ チバザビーフ協議会は、もともと各銘柄出荷団体の集まりから始まった経緯もあり、出荷頭数の大小にかかわらず、役員（理事及び監事）には概ね各銘柄の代表（及び副代表など）がそれぞれ選出されています。
- ④ 一方で、理事を補佐する専門部会の生産者委員には、比較的会員数や出荷頭数の多い銘柄から選出されていますので、役員と専門委員を併せれば、各銘柄の組織規模に見合った員数が選出されているのではと考えます。
- ⑤ 理事の互選による会長及び副会長の選出については、予め6月3日開催の理事会にて、第4号議案が可決した際には現行の会長及び副会長がその任を引き継ぐ旨、了承を得ています。

《新役員等一覧》

[会長] (1名) 宮澤 武志
[副会長] (2名) 岩淵 義徳、大川 修一
[理事] (7名) 岩淵 一晃、椎名 寿行、関口 次敏、宇井 正之、江口 幸太郎、
篠本 正治、向後 眞
[監事] (2名) 麻生 義一、石上 信幸
[専門委員] (5名) 高山 和視、伊藤 茂雄、小池 幸廣、齋藤 茂樹、岩井 康至

7 その他

- ① 「どこかのイベント内でも良いが、新しい人々がこの世界に入れるような説明会などがあっても良いのでは。」との意見をいただきました。

以上のとおり報告します。

令和2年7月3日

チバザビーフ協議会
事務局 小倉 崇司

令和2年7月1日

チバザビーフ協議会
会長 宮澤武志様

一般社団法人東京食肉市場協会
会長 小川一夫



東京食肉市場まつりの開催中止について

平素より、東京食肉市場協会の事業運営につきまして、格別のご指導、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年10月に貴協会のご協賛をいただき、開催を予定しておりました「東京食肉市場まつり」は、現時点で、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、また、市場まつり開催に当たって、いわゆる三密の回避、ソーシャルディスタンスの確保ができないことなどから、ご来場者並びに関係者の皆様の健康・安全を第一に考え、開催を中止させていただくことといたしました。

皆様方には開催を楽しみにしておられたことと存じますが、事情をご推察の上、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

<本件に関する問い合わせ先>

東京食肉市場協会 島崎、安食

Tel 3 4 7 2 - 9 2 5 9

じゃらん『プロモパック』

じゃらんの各種メディアを活用し
圧倒的なカスタマーリーチを実現

(1)本誌

行政記事広告
2P以上



月刊発行部数
関東・東北版 **71,000部**
東海版 **33,000部**
関西・中国・四国版 **52,000部**
九州版 **103,000部**

+

(2)週刊じゃらん

フリー8P+最大15スポット



累計
約**150万**ダウンロード

+

(3)じゃらん ニュース

(スポットorお土産5~15選)
まとめ記事 1P



月間PV
約**2500万**
月間UU
約**1000万**

+

(4)SNS

じゃらんニュースの
記事リンクを投稿



フォロワー
約**25万**



フォロワー
約**22万**

※2019年7月時点での情報になります

概要

本誌じゃらん・週刊じゃらん・じゃらんニュース・SNSと、じゃらんの各メディアを活用し、全国の読者にエリアのアピールが可能です。多面的により多くの人へリーチすることができます。

料金

230万円 (セット価格・制作費込/取材撮影費別途/税抜)

セット媒体

(1) 本誌 (行政記事広告) …2P
(2) 週刊じゃらん (本誌セット) …フリー8P+最大15スポット
(3) じゃらんニュース (スポットorお土産5~15選) …まとめ記事 1P
(4) SNS (Twitter/Facebook) …ニュース記事を投稿 各1回

掲載期間

● 本誌・週刊じゃらん … 掲載媒体の販売期間に準ずる
● じゃらんニュース・SNS … 年度末
※じゃらんニュースは、12月掲載分までは年度末まで。1~4月掲載分は掲載から6か月後に掲載終了。

発行 予定日

(1) 毎月1日予定
(2) 本誌発行月1~5週目木曜日想定
(3) (4) 本誌発行月の中旬(15~20日前後) 想定

その他

※本誌・週刊じゃらんの修正は原則、初稿・2稿の2回となります。またニュース記事・SNSは実際の掲載画面を事前にご確認いただくことはできません。
※じゃらんニュース・SNSは、固定フォーマットに付き、自由なデザイン・レイアウトにできません。
※本誌 4P の場合は、「プロモパック」270万円になります。
※要望に応じて一部の媒体を外すことは可能です。ただし、その場合でも料金は変わりません。
※自然災害や弊社外のサーバーダウン等による外的要因によって記事配信ができない場合についても保証できない点をご了承ください。
※効果レポートは、掲載媒体のうち一番掲載開始が遅いメディアの掲載から約3か月+3週後に、まとめて提出いたします。

具体的な進め方

- ✓ 一過性のものではなく中長期的なブランド認知度UPを狙いたい
- ✓ そのために3カ年計画で対象事業者、連携施設、販売期間を広げていく

▼ 3カ年計画 (案)

	対象事業者	連携施設	販売期間
初年度	趣旨に賛同した 生産事業者	宿泊施設30施設程度	3ヶ月程度
2年目	初年度の結果を受けて 新たに手を挙げた生産事業者	宿泊施設50~70施設程度 道の駅、レストラン等	半年程度
3年目	2年目の結果を受けて 新たに手を挙げた生産事業者	宿泊施設80~100施設程度 道の駅、レストラン等	通年